地域おこし協力隊通信　No.69

マオイ活動だより

観光振興担当
古川　喬士さん

そうだ、歌人になろう　おとなり由仁の歌人たち

夏ですね。地域おこしの古川です。先日、ずっと気になっていた由仁町の「ユニ・カフェ」という所に行ってきました。

地元の人が集うカフェの雰囲気もよかったのですが、そこで見かけた月に一度の集まりがあるという「短歌同人のお誘い」というチラシに鼻息が荒くなりました。

僕が人生の大半を過ごしてきた発展途上国と呼ばれる国々では、「生活費を稼ぐための労働」と「人生で自分がしていること」が別々に存在していた気がします。「仕事としてしているのはAだけど、自分はBをする人です」のように。

エクアドルには、ファウストという友人がいます。建設現場の作業員や庭師として生活の糧を得ているのですが、誰かが彼のことを話すときや、彼が自己紹介するときには大体「絵描きのファウスト」と言います。

そのほかにも、「詩人のアレクサ」（農業）、「舞踏家のマリネス」（学校教員）、「語り部のチョキ」（建築家）など、僕が住んでいた小さな町では、情熱の対象が呼び名になっている人たちに出会いました。

「ユニ・カフェ」でその歌人募集のチラシを見たときにも、「由仁にも様々な職業につきながら、歌を詠んでいる歌人たちがいる！」と嬉しくなったのですが、よく考えてみると、長沼にもたくさんそういう人たちがいますよね。ソープカービング、パーチメントクラフト、太鼓や鬼剣舞、蕎麦打ちや木工、ランニングや音楽活動。

様々な仕事で生活の糧を得ながら、自分の好きなことを精神の糧にしている人々。

自分の活動を換金することだけに囚われない精神、「遊び」への真剣な態度は、東京のような都心よりも、ここ、マオイの丘文化圏のような田舎に受け継がれているのかもと思ったりします。

僕もまた、詩や短歌を始めてみようかなと、ふと思いました。

最後に、前にどこかで見て面白いと思った短歌を転載させていただきます。啖呵（たんか）かもしれないけれど。

猫投げるくらいがなによ
本気だして怒りゃ
ハミガキしぼりきるわよ
（穂村　弘）

絵描きのファウスト

おうちみたいなカフェ

シティプロモーション担当
佐野　亜沙美さん

私は、平日は食事を節制しており、週末に解放しチキンレッグにかぶりつくという生活を送っています。なので平日のお昼ごはんを大事にしています。

そのランチにおいしい酵素玄米やお味噌汁を食べると、カラダに染み込む良いものをいただいたという、ありがたい気持ちになります。昔から早食いなので、よく噛むこと、味わうこと、当たり前のことが改めてとても大事に思います。

5月、18区の字幌内地区に金子さんご夫婦が経営するカフェ＆ヨガスタジオ「コーヒータイムユズヤ／ひなたぼっこyoga」がオープンしました。

ユズヤのランチは、酵素玄米を使用しています。モチモチ酵素玄米は、玄米や小豆を炊いて3～4日寝かせて熟成させた、美容や健康に良いとされる栄養価の高い食べ物です。

町内の米農家「ヒンナファーム」のお米を使った酵素玄米や米粉のシフォンケーキ、「池下本店」の麹を使った甘酒しょうゆ、「加工グループ手結び」のお味噌、「日東総業」の源泉手揚など、野菜も含め、できるだけ長沼産の食材を生かしたランチです。

珈琲の種類も豊富で、ご主人が珈琲の匂いまみれになりながら愛情込めて焙煎する、炭火焼自家焙煎のエスプレッソは香ばしくまろやかな味わいです。

隣にはヨガスタジオがあり「ヨガは体が柔らかく丈夫になるだけではなく心も元気になり、自分の声を聞けて自分を大事にでき、日々の行動が変わってくる」と奥さまの里実さんは話します。

自然を近くに感じられる「田んぼヨガ」などのイベントも開催していて、スタジオではキッズヨガ、親子ヨガなど、家族でヨガを楽しめます。

ご近所は、舗装されていない砂利道が逆にしっくりくる、おしゃれな建物が立ち並んだ西洋風の住宅街。緑が優しく、冬にはまた景色が変わっていい感じにひっそり感が味わえる環境です。

穏やかで温かいご夫婦がつくる空間は「今日は自分に優しくなれた」と自分を褒めてあげたい気持ちになります。たまには褒めてあげないとなく。

9月9日は救急の日

救急の日とは、住民の方々に救急医療及び救急業務の正しい理解と認識を深めてもらい、救急医療関係者の意識の高揚を図るために設けられたものです。

消防では、応急手当がより多くの方に普及するよう、毎年救急の日に普通救命講習会を実施しており、今年は9月5日㈰に開催します。

ぜひ、この機会に受講してみませんか。

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、講習を中止する場合があります。

普通救命講習会

【場　所】南空知消防組合　長沼支署　2階
【日　時】9月5日㈰　13時～16時
【申　込】電話でお申し込みください。
【締　切】8月29日㈰　19時まで
【内　容】心肺蘇生法及びAED取扱い
【その他】受講者には修了証を交付します。
【申込・問合先】南空知消防組合長沼支署救急係（☎88－2819）

救急当番病院の照会

○南空知消防組合長沼支署（☎88-2819）
○救急医療情報案内センター（☎0120-20-8699）
・携帯電話から（☎011-221-8699）
・インターネットから（https://www.qq.pref.hokkaido.jp/）

■救急出動件数
令和3年6月30日現在
241件（前年比29件増）

■普通救命講習受講者（平成10年～）
令和3年6月30日現在
延べ4,971名受講（前年比178名増）

AEDってどんなもの？

AEDとは、自動体外式除細動器といい、心停止患者の心臓に電気ショックを与える機器です。

使用方法は簡単で、音声ガイドの指示どおりに行動するだけです。

AEDを使用することで、心停止患者の救命率向上に大きな影響を及ぼします。AEDは誰もが簡単で安全に扱うことができる機器ではありますが、普通救命講習を受講し、正しい知識と操作方法を身に着けておきましょう。

町内には、25か所の施設にAEDが設置されています。

■長沼町の施設　13か所
りふれ、町民会館、長沼小学校、長沼中学校、旧舞鶴小学校、ながぬま温泉、道の駅マオイの丘公園、スポーツセンター、総合公園パークゴルフ場、スキー場、消防長沼支署、南長沼分遣所、北長沼分遣所

■その他の施設　12か所
長沼高校、マオイの里、かえでの杜、タキイ種苗、パーラーハビン、長沼陽風、雪印種苗、長勝寺、迎光園、中央農業試験場、てらさわ歯科、シイナ重建

救命の連鎖

心停止の予防
心停止の早期認識と通報
早い心肺蘇生とAED
救急隊、病院での処置